



学校教育目標 協働して未来を創る

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成
学校教育方針
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

光陽中学校区研究テーマ

地域や学校に誇りを持ち、
たくましく生きる児童生徒の育成

めざす児童像

- 自ら学ぶ子
- 心身ともにたくましい子
- ともに生きる子

研究主題

協働して互いに高め合う
児童の育成

○児童の実態

- ・人の話をよく聞き、素直で前向き
- ・基礎・基本の定着に課題

○教師の願い

- ・基本的な生活習慣を身につけ、学力、体力、豊かな心を育む

○保護者・地域の願い

- ・明るいあいさつができる
- ・しっかりした学力・体力
- ・安全に通学し、安心して生活する

重点目標

みんなが笑顔で通える学校づくり

自ら学び、よりよく課題を解決する子

○「協働し、互いに高め合う学び」を実現するための授業改善

★主体的に学習に取り組むための「わかる授業づくり」

- ・対話を目指した、自分の考えを発信させるための工夫

★「わかる授業づくり」をするためのICT活用

○基礎・基本の定着

- ・朝学習や、自主学習などを取り入れた家庭学習の充実
- ・対話に向けた「聞く」「書く」「話す」力の定着

○読書習慣の形成

- ・貸出冊数の可視化による貸出冊数の増加
- ・週末読書、親子読書の推進

☆授業中、自分の意見や考えを周りの人に伝えていると答える児童 80%

☆自分は「協働し、高め合う授業改善」に取り組んでいると答える教員 100%

つながり合ってともに生きる子

○互いに認め合い、思いやりの心を育む道徳教育の充実

- ・「考え、議論する」道徳授業の実践
- ・多様性を尊重し、自他を大切に人権教育、インクルーシブ教育の推進
- ・発達段階に合わせた情報モラル教育

○相手や場に応じたあいさつ

- ・委員会活動によるあいさつ運動の推進
- ・集会活動を通じて相手や場に応じて話すことの指導

○つながり合うことで育てる自己有用感、自己肯定感

- ・学級活動、学年活動の工夫
- ・特別活動を重視し、集団への帰属意識や役割意識を育てる
- ・今の学びを未来の生き方につなげるキャリア教育

☆道徳の時間に考えを深めることができていると答える児童 90%

☆将来の夢や目指す目標を持っていると答える児童 90%

心身ともにたくましく取り組む子

○基礎体力の向上

- ・委員会活動を活用した日常的な運動の呼びかけ
- ・しゃがみ込み体操やリズムジャンプ等の継続

○健康・食について自ら実践する態度の育成

- ・「早寝・早起き・メディアコントロール」に対する取り組みの推進
- ・清掃後の「目のトレーニングタイム」の継続
- ・食育チャレンジ等を通じた家庭につながる食育の継続

○教育相談体制の充実

- ・心のアンケートやスクールカウンセラーの活用
- ・専門機関等とのすみやかな連携・協力

☆健康・体力づくりに積極的に取り組んでいると答える児童 90%

☆学校は食育や健康な体づくりに力を入れていると答える保護者 95%

信頼される学校づくり

○家庭・地域とのつながりが見える学校

- ・地域の歴史、文化資源や人材を活用し、つながりを実感することによって育てる、地域やふるさとへの愛着
- ・学校だより、ホームページ等による情報発信
- ・ネット利用、情報モラルを含めた光陽中学校区家庭教育スタンダードの推進
- ・家庭・地域とともにつくる安心、安全な学校
- ☆郷土福井を大切にしたいと考える児童 80%
- ☆学校は、教育方針や教育内容を適切に伝えていると答える保護者 95%

<業務改善のための取組>

- ・毎週水曜日のノー残業デーは18時退校
- ・積極的な業務推進日の設定
- ・会議等の精選・効率化
- ・ICTの活用による業務改善